

佐賀森林管理署交渉（全国林野関連労働組合 佐賀森林管理署分会）  
議 事 要 旨

1 日 時 平成25年8月7日（木） 17:20～17:50（30分）

2 場 所 佐賀森林管理署 入札室

3 出席者

佐賀森林管理署	森 勇二	署長
同	黒木興太郎	次長
同	本田 博邦	総括事務管理官
林野労組佐賀分会	副島 利博	委員長
同	藤本 順也	副委員長
同	橋本 賢一	書記長
同	武藤 和子	執行委員

4 交渉事項

- (1) 超過勤務等に関わる労働条件について
- (2) 安全対策について
- (3) その他（現場管理機能の確保について）

5 議事概要

当局) 4月からの一般会計移行に伴い、これまでの各課・係制からグループ制となり、約半数の職員の異動がある中で、各種業務、打合せ・会議などに職員全員が協力して取り組んでいただいております、感謝申し上げます。

本日は、「超過勤務等に関わる労働条件について」、「安全対策について」、「現場管理機能の確保について」の交渉を行う。

**I 超過勤務等に関わる労働条件について**

組合) 職員の超過勤務については、一般会計移行に伴い、①非常勤職員の雇用の変化による締切等の事務量の増加、②出張伺や復命書作成(日帰)など事務の重複等、③民国連携に伴う各種打合せや会議、准フォレ、共同施業団地対応等、通常業務外の業務の増加、④森林事務所の複数担当区の管轄などでの業務過多、⑤グループ制となり併任は解消されたものの実質的には業務の複数担当など、実際の業務量は増加しているとともに、事務の煩雑化や事務処理方法がわかりにくいなど、余計に手間と人手が掛かっている状況にあり、このことが超過勤務の増加につながっていると思うが、当局は、このような実態をどう把握し、どのように改善を図っていくのか。

当局) ご指摘の超過勤務の増加については、実員数が変わらない中で、職員の努力と協力のもとに業務を進めているところであるが、昨年度同時期に比べ約2.5倍となっている。

増加の要因には、一般会計における事務処理や民国連携に向けたこれまで以上の関係機関との対応等ご指摘の面も多々あるが、当局としても、担当者任せにせず、目配

り・気配り、業務内容の把握を行い、業務が個人に集中しないよう、職員の協力を得ながら削減に努めて参りたい。

## Ⅱ 安全対策について

組合) 九州局では、署長は「健康安全管理監督者」に位置づけられており、これまで同様に安全管理のトップとして、自ら先頭に立ち「管内から災害を絶対に出さない、出させない」との決意で安全管理体制の充実・強化に取り組んでもらいたい。

当局) 安全対策については、今後とも、署長としての責任を自覚し、リーダーシップを発揮して安全管理体制の充実・強化に努力して参る所存である。

組合) 森林官が、一人で現場に行く状況が多々あると思うが、基本的には一人作業は避けるべきであり、安全上好ましくない。

また、林道は、安全に通行できることが不可欠であるが、当署管内の林道等は、草等で通行不可能な箇所が多い実態にあることから、林道の維持修繕等の措置並びに通常の林道維持管理や巡視・巡検を行う体制づくりが必要ではないか。

当局) 森林事務所における巡視や巡検等の業務については、森林官が一人で現場業務を行う機会も多々あるが、引き続き、出張時の署との連絡を徹底するとともに、調査等の応援など署内職員等の協力も得ながら安全を最優先に取り組んで参りたい。

林道の安全通行については、職員による危険箇所の表示や通行不能な箇所等の署担当者への報告、また、維持修繕については応急維持修繕やボランティアなどにより対応しているところであり、引き続き、現状の把握及び維持修繕に努め安全の確保を図って参りたい。

## Ⅲ その他(現場管理機能の確保について)

組合) 安全にも関連するが、現場では、林道の通行で支障となる倒木の処理や境界の刈り払い等ができない状況となっているがどのように対応していくか。

当局) 林道の通行に支障となる倒木の処理や軽微な補修等については、職員の協力、臨時雇用、応急維持修繕、ボランティアなどにより対応しているところであり、引き続き、現状の把握及び必要な措置を講じて行くよう努めて参りたい。

組合) 一般会計に移行し事務処理に追われてきたが、ようやく各職員が問題を感じ始めてきたところである。

今後、職員からの意見を集約し調整した上で、国有林の事業がスムーズに進むよう対策や対応について論議していきたいと考えているので、よろしく願いたい。

当局) 本日の指摘及び意見については、署で対応できるものは職員の意見等も聞きながら改善に努めて参りたい。

また、署の現状・実態等については、上局に報告・相談しながら、改善できることから取り組んで参りたい。

今後とも、職員との信頼関係の下により良い職場となるよう努めていきたいと考えているので、引き続き理解と協力をお願いする。